

新たな特典など、さらに充実!
近鉄あみま倶楽部
会員募集中!
(年会費1,000円)
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

コースのあらまし 森閑とした橿原神宮の境内を抜けてまず畝傍山へ登る。樹々の間から金剛葛城連山を垣間見ることができる。近鉄橿原線を横切って本薬師寺跡・紀寺跡・香久山へと進む。落ち着いた農村風景とのどかな田園風景が溶けあう。本格的都市の第一号、藤原宮跡に立寄ったのち、最後のポイント耳成山へ。見る場所によって姿の変わる三山を眺めながら歩くコース。大和三山は低い山だがいずれもすべりやすい箇所があり、足元には注意を。

畝傍山 標高199m、大和三山の中で最も高い。『万葉集』には香久山と耳成山がこの畝傍山をめぐって争う有名な歌があるが、畝傍山を男性の比喩とみるか、女性とみるか説が分かれる。山麓には橿原神宮や畝火山口神社がたずみ、神話の世界にひたれる山である。

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。



- 大阪阿部野橋駅から橿原神宮前駅まで約40分
- 京都駅から橿原神宮前駅まで特急約50分
- 近鉄名古屋駅から橿原神宮前駅まで約2時間5分(大和八木駅まで特急利用、大和八木駅のみかえ)
- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。

●本薬師寺跡 西の京に伽藍そびえる薬師寺の前身。天武天皇が皇后の病治癒を願って造営したという。民家の裏に巨大な礎石群が、少し離れた田の中に東西二塔の心礎が残る。

●紀寺跡 香久山と飛鳥川にはさまれたところにある。埴仏や軒瓦・礎石が出土したが、その全容は謎に包まれている。寺跡帯には芝生が植えられ、お弁当を広げるのに良い。南側の道は藤原京の八條大路といわれる。

●香久山 標高152m、『万葉集』では天香山とうたわれる。三山の中で最も形がわかりにくい、古代には国見の地であったといわれる。頂上からの展望はきかないが西側の中腹からは金剛～生駒の山々、大和原が一望。近くに天香山神社・天岩戸神社・万葉の森・橿原市昆虫館などがある。

●藤原宮跡 持統・文武・元明の3代、16年にわたって宮殿があった。ここを中心とする藤原京は次代の平城京と同じく、唐の長安を模したものだ。草原状の跡地からは、大和三山をはじめ取囲む山々を一望できる。発掘成果を展示する奈良文化財研究所藤原宮跡資料室が香久山の北西に。

●耳成山 標高139m、三山のうち最も低い。まわりには丘や山がなく、三輪山のようなたおやかな山容はひととき目立つ。古代人は神の山として崇めたことであろう。中腹に天神社、南麓に桜の美しい小公園がある。

●橿原神宮前駅 橿原神宮の境内を抜けてまず畝傍山へ登る。樹々の間から金剛葛城連山を垣間見ることができる。近鉄橿原線を横切って本薬師寺跡・紀寺跡・香久山へと進む。落ち着いた農村風景とのどかな田園風景が溶けあう。本格的都市の第一号、藤原宮跡に立寄ったのち、最後のポイント耳成山へ。見る場所によって姿の変わる三山を眺めながら歩くコース。大和三山は低い山だがいずれもすべりやすい箇所があり、足元には注意を。

必ず一日の無事をお祈りしてから出発しましょう。

●約14キロ〔橿原神宮前駅～畝傍山～香久山～藤原宮跡～耳成山～大和八木駅〕(又は耳成駅)

大和三山回遊コース

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊明
※無断転写禁ず。

